

- 地域の農産物等の機能性に着目して健康関連の食市場を開拓するため、食による健康都市づくりに関する地域の取組や、制度活用ノウハウの情報提供など、機能性表示食品制度等の活用を促進するための環境整備を支援します。

地域におけるモデル的な取組支援

機能性農産物等の食による健康都市づくり支援事業(補助)

機能性農産物等を活用して健康都市づくりを目指す地域協議会を支援します



・地域の中食・外食・メーカーで販売・提供
・セミナー等による効用・価値等の普及啓発

・機能性農産物の需要の拡大
・農業者の所得の向上

更なる需要拡大のためのしかけ

食産業における機能性農産物活用促進事業

1 機能性表示食品制度活用推進環境整備(補助)

<活用促進人材の育成>

- ・届出ノウハウを普及するセミナー等の開催により、機能性表示食品制度への農産物の届出を促進します



<食習慣・健康データを活用した食生活改善ツールの開発>

- ・機能性農産物の情報を含むオーダーメイドの食事提案がされるツールの開発を行うことにより、消費者が積極的に機能性農産物を食生活に取り入れる環境を整備します

3 機能性農産物等活用バリューチェーン構築調査(委託)

- ・機能性農産物の需要を拡大するため、大口の需要先となる外食・中食産業において、機能性農産物等を積極的に活用できる環境を整えます

- ・機能性農産物を取り扱う際のバリューチェーン上の課題を実証的に調査
- ・商品化に向けた具体的検討・調査



機能的農産物等の食による健康都市づくり支援事業 (福岡健康都市づくり地域協議会の例)

<30年度(予定)>

取組成果のとりまとめ、情報発信強化

健康ブランド化

- ・臨床試験結果等について普及啓発を行うとともに、サポーター店認定制度の運用開始など習慣化を図るプログラムを推進。
- ・大規模地域コーホートを継続し、プログラムの重点化と拡充を行い、地域協議会の参加枠組みを拡大。
- ・機能的表示食品として届出することにより、更なる地域農産物の活用を図る。

<29年度>

1年目を踏まえた体制強化・規模拡大
(生産体制強化、飲食店・食育プログラムの充実化等)

- ・新規50レシピの開発等のほか、カキタンニンに特化した商品開発を実施し、消費者庁へ機能的表示食品の届出を目指す。
- ・カキタンニンの実証効果について、追加的な臨床試験を行い、届出を行うためのエビデンスを取りまとめる。
- ・サポーター認定基準の策定等を検討し、地域商店街等での普及啓発につなげる。
- ・地域特性を活かした商品、総菜等のメニュー、健康食品として、総合的に展開することで、地域農産物のブランド化が行えるよう検討。

<28年度>

食による健康都市づくり推進体制整備
(関係者巻き込み、戦略・計画策定、計画実行等)

- ・福岡県、福岡市をはじめとし、JAや大学、メーカー、卸、小売事業者等、産学官38団体の総意として「食育健康増進プログラム」を策定。地域の関係者が連携した取組が可能な体制を整備。
- ・柿等を日々の食習慣に落とし込める食事メニューの開発を行い、50レシピを開発。
- ・開発レシピの中から5点を地域の総菜店にて商品化し、県内28店舗で販売を開始。
(売上350万円/4日間の限定販売)
- ・男性被験者30名に対し、3週間にわたって開発したメニューを喫食する臨床試験を行ったところ、総脂肪面積は被験者の平均値で、4.7%の減少が見られた。
- ・このうち内臓脂肪面積は全被験者の平均で8.4%減少しており、内臓脂肪が効率的・効果的に減少することが見て取れた。

